

令和4年度

浜松市立和田小学校
第2回 学校運営協議会

令和4年9月13日(火)
午後1時40分～午後3時40分
視聴覚室にて

学校運営協議会 次第

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 委員任命書 交付
- 4 自己紹介
 - ・委員、学校職員、校務アシスタント
- 5 議長の選出
- 6 前回会議録確認
- 7 熟議
 - (1) 今後の学校運営について～1学期教育課程アンケート結果をもとに～
 - (2) 学校支援活動について
- 8 その他
 - ・情報交換 等
- 9 連絡
 - 次回の運営協議会の予定
 - ・第3回 1月12日(木)
 - ・第4回 2月20日(月)

令和4年度 浜松市立和田小学校 学校運営協議会 委員

五十音順

氏名	ふりがな
神谷 みち子	かみや みちこ
齋藤 博	さいとう ひろし
鈴木 滋芳	すずき しげよし
高橋 靖博	たかはし やすひろ
竹内 明美	たけうち あけみ
林 實	はやし みのる
箕浦 利弘	みのうら としひろ

CSディレクター 伊藤 裕美 (いとう ひろみ)

学校関係職員

校長 横井 靖二 (よこい やすじ)

教頭 岡本 綾子 (おかもと あやこ)

主幹教諭 泉澤 孝典 (いずみざわ たかのり) ※CS担当職員

令和4年度

浜松市立和田小学校

第2回 学校運営協議会 熟議資料

令和4年9月13日(火)

全国学力・学習状況調査について

4月19日（火）に、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象として行われた、全国学力・学習状況調査の調査結果及び、本校6年生児童の状況について、お知らせします。

【教科調査の結果】

各教科の平均正答率は、以下の表の結果となりました。結果を分析したところ、教科や出題内容によって、定着に差が見られたり、児童が苦手としている内容・問題が顕著に表れたりしています。また、質問紙調査の結果からも、和田小児童の特徴も分かってきました。調査結果を生かして、全校の、授業改善や学力向上、学校生活の向上に努めていきたいと思えます。

【本校の平均正答率の状況】

	全国	浜松市	和田小学校の状況
国語	65.6	67	全国平均より、かなり上回る
算数	63.2	64	全国平均より、上回る
理科	63.3	62	全国平均と、同程度



教科調査からの傾向

国語	<p>解答傾向は、問題による多少の差異はあるが、国や市とほぼ同様である。無答率も、国や市に比べ、低い問題が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、正答率が高い。 ○「話すこと・聞くこと」の正答率が高い。 ●問題の意図を理解して、適切に表現することの正答率が低い。
算数	<p>解答傾向は、問題による多少の差異はあるが、国や市とほぼ同様である。無答率は低いが、国や市と同様な傾向がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「数と計算」「データの活用」領域は、比較的正答率が高い。 ●「変化と関係」領域の正答率が低い。
理科	<p>解答傾向は、問題による多少の差異はあるが、国や市とほぼ同様である。無答率は、国・算に比べると高く、国や市と同様な傾向がみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生命」を柱にする領域は、比較するとやや正答率が高い。 ●実験や観察の結果を通して、自分の考えをもったり表現したりすることの正答率が低い。

【課題】

3教科を通じて、今後の課題を以下の2点と考えます。

- ① 「資料や問題中の言葉のもつ意味や使われる語句の定義の理解」
- ② 「自分の考えや分かったことを、問題に応じて、適切に表現すること」

①については、日々の授業の中で、基礎基本の定着の中で、言葉や語句の意味や定義をきちんと理解、把握できる指導を進めていきます。

②については、問題の意味や意図を理解することが必要になるため、①の要素も大きく関わる中で、適切に、簡潔に文章を組み立てていく力が必要であると考えます。

今後の学習の中で交流する場面も多くあり、中にはICTを用いた意見交流もある中で、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたり、表現方法について話し合ったりする機会も取り組んでいきたいと思ひます。



【質問紙からみた、本校6年生の傾向】

学習調査とともに、児童の生活習慣や意識に関する質問も実施されました。

本年の傾向として、規範意識の高さ、学校生活の充実が感じられます。基本的な生活習慣もおおむね身に付いていると思ひます。全体を通して、自己肯定感の高さが見られます。

※国と比べ、良い傾向が顕著に表れている内容（一部抜粋）

- 自分には、よいところがあると思ひますか
- 学校に行くのは楽しいと思ひますか
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思ひますか

また、教科への興味関心も高く、その教科の必要性や大切さ、意義を理解している児童も多いことが分かりました。全体として無答率が低く、最後まで問題に取り組み解答しようとする姿勢が見られます。

課題は、「ゲームやスマホ利用、動画視聴」といったメディア関連があげられます。

「家庭でのルールを守っている」と回答している児童は約40%、「だいたい守っている」も含めると70%ほどですが、回答では平日に、2時間以上、ゲームなどをする児童が50%、動画視聴で25%となりました。放課後、休日の過ごし方としても、約90%がゲームや動画視聴と回答しているため、メディアとの付き合い方、利用の仕方は、今後も家庭と連携しながら改善していく必要があると思ひます。



また、進んで学習に取り組む姿勢も、課題としてあげられます。学習に取り組む時間が、1時間未満の児童が約40%もあり、今後の中学校進学において、学習の取り組み方が分からないといった課題につながらないように、自主的な学習への支援を進めていきたいと思ひます。

学校生活アンケート（1学期末）の結果について

1学期末に行いました、学校生活アンケートへの御回答、ありがとうございました。児童のアンケート結果と合わせて結果を考察、分析した内容や課題に対する改善、向上策等をお知らせします。

この結果を、校内で共通理解を図り、今後の学校生活の向上に生かしていきたいと思っています。裏面のアンケート結果集約グラフも御覧ください。

【アンケートの傾向】

児童の回答は、校内生活においては、おおむね9割程度のよい傾向が見られました。

しかし、どの設問に対しても、下位評価をつけている児童がいたり、学年によって傾向が違ったりすることも見られました。

保護者の結果回答を見ると、全体的に「B」の評価の割合が多いことが分かりました。『「C」をつけるほど悪くもない』が、『「A」をつけるまでの根拠がない』、といったことが評価に表れていると感じます。また、児童が主語の項目と学校が主語の項目に分けてみると、児童に対する評価の方が低い傾向にあります。学校教育に対しては、評価から見れば高い評価をいただいていると思いますが、昨年度と比べると評価が低下した内容も見受けられます。

【アンケートから見る課題】

裏面のアンケート結果グラフからもわかるように、児童と保護者の回答結果や評価の差をふまえ、課題となる内容は、以下の3点があげられます。

「あいさつ・登下校」
「学習の定着」
「家庭での生活習慣」



〈あいさつ・登下校〉

「あいさつ・登下校」については、児童の回答と保護者の回答の差が大きく、校外や地域で、進んであいさつができていないことが分かります。あいさつは、学校生活だけではなく、社会生活における大事な要素だと考えます。そのため、学校での指導も引き続き進めていきますが、ぜひ家庭内でのあいさつの励行もお願いします。

〈学習の定着〉

「学習の定着」については、参観会など保護者や学校に来てお子さんをみとることができていないことや学級での指導への不安感などが理由と考えられます。

現状においては、保護者が来校する機会は限られているため、これまで同様、日々の授業を大切に、今一度、学習規律を児童とともに確認し徹底することで、授業の充実を図っていきたいと思います。また、個に応じた支援が進められるように、効果的な支援員、担任外の配置も進めていきたいと考えます。

〈家庭での生活習慣〉

「家庭での生活習慣」では、「早寝早起き朝ご飯」や「家庭での宿題や身支度」など、保護者の視点からは、改善・向上してほしい思いが分かります。

児童は、学校での係活動や委員会活動などに頑張っており取り組んでいますが、家庭では、「自ら進んで」ということがまだまだな児童が多いと思われまます。

家庭においての意識も向上できるように、今後も保護者、家庭と連携しながら、児童への呼びかけ、支援を進めていきたいと思います。

さらに、児童・保護者ともに、低い傾向にあるのが「ぼく／わたしは、遊びや運動で、体を動かしている。」の内容で、学年による差も大きいです。感染症や熱中症対策も関係していると思いますが、体育の授業を中心に、体を動かす機会を増やしていきたいと思います。

〈自由記述欄について〉

自由回答には、60件ほどの御意見をいただきました。上記の課題に関する内容以外にも学校教育活動への御指摘や御意見、励ましのお言葉も多くいただきました。今後の指導、支援への参考にし、改善・向上に努めていきたいと思います。また、今後も文書や便りなどで連絡や案内、準備物のお願いなど行っていますが、御不明なことがありましたら、随時、御連絡ください。

【毎日の持ち帰り内容】

→ 基本的に、家庭学習に必要な教科書や資料集、ワークなどの補助教材については、学校に置いておくようにします。詳細は、学年だよりなどでお知らせしていきます。

【コロナ対応】

→ 現状の感染状況を鑑みると、これまで以上に感染症予防への対策に努めていきたいと思います。予定されている行事や活動は、できる限り進めていきたいと考えています。しかし、今後の状況次第では、変更・延期なども考えられます。

R41 学期 学校生活アンケート 児童と保護者回答 相関

— 児童 — 保護者

